

# 翻刻「鴻池屋進物控」

後藤郁夫

## 翻刻者まえがき

本稿は、大阪商業大学商業史博物館が所蔵する佐古慶三教授が収集した文書の一つ「鴻池屋文久元年進物控」の翻刻である。この進物控が文久元年のものであることは、本控の冒頭に「文久元年辛酉三月改」と記されていることにより明らかであるが、進物者の記載がないため進物者が誰であるかは推定する以外に手立てはない。翻刻者は種々の理由により本控の進物者を十代目鴻池新十郎家と推定する。十代目新十郎は鴻池屋の鼻祖新六の三男之政（後に改め又右衛門）より数えて十代目直興であり、天保十年に和泉町に山中七郎の子として生まれ明治二六年に六四歳で歿した。新十郎は維新前は専ら両替商、しかも大名貸を主とする両替商を営み、鼻祖新六の三男の分家ということもあって鴻池屋一族の中の格式は傑出したものがあつた。

「進物控」が新十郎家の手で書かれた事由として、下記の三つの要因を

## 指摘することができる。

### ① 住吉屋町の屋敷

贈答者が新十郎家であることが明確な「進物覚」によれば、和泉町に住む新十郎は九月二一日に和泉町年寄下河邊宗純に鯉節一連・酒三升を贈っている。これは同じ町内に住む和泉町の年寄として儀礼的な目的で贈答している。また、新十郎家で日出度いことがあり、祝儀をもらった答礼として、鴻池彦三郎殿、大和屋平兵衛殿、古金屋嘉兵衛殿、和泉家勘助殿、鴻池七郎兵衛殿、同茂七殿、同岩助殿に鯉節十宛を贈っている。

天保八年に刊行された、災害時の救恤寄付人名簿である『天保仁風便覧』には、和泉町の町人十五名の内、年寄下河邊宗純・大和屋平兵衛・鴻池家彦三郎・古金家嘉兵衛の四名の名前が記載されていることから、同じ町内に贈答している。このことは日頃から交際があつたことを窺わせる。

また、住吉屋町に土地・屋敷を持ち、家守に家賃を集めたり、屋敷の管

理上の問題もあって、住吉屋町の年寄には世話になってることから、贈答をしている。

史料の「進物控」を広げて見ると、住吉屋町の年寄炭屋市兵衛には七月九日の中元、十二月十九日の歳暮と二度に渡って贈答をしている。

史料「進物控」の六月には、

一 白銀貳両 下河邊宗純

七月九日中元御祝儀には、

一 金子百兩 住吉町年寄炭家市兵衛殿

一 白銀貳兩 同町丁代

一 鳥目貳百銅宛 同町下役人三人

一 白銀五兩 下河邊宗純殿

十一月寒中御見舞

一 白銀貳兩 下河邊宗純殿

十二月十九日歳暮御祝儀

一 金子百疋 住吉町年寄炭家市兵衛殿

一 白銀貳兩 同所丁代

一 鳥目貳百銅宛 同所下役式人

一 白銀五兩 下河邊宗純殿

等々とあり、「進物控」の内容が、大名・鴻池一族・本兩替仲間の一部・世話になっている町内の人達という構成になっていることがわかる。ここでは、和泉町の年寄を努める下河邊宗純に中元（白銀五兩）、寒中見舞（白銀貳兩）、歳暮御祝儀（白銀五兩）として贈っている。更に住吉屋町に土地と屋敷を持つ鴻池新十郎は年寄の炭屋市兵衛に対しても中元御祝儀

（金子百疋）、歳暮御祝儀（金子百疋）を贈っている。住吉屋町には年寄炭屋市兵衛・鴻池屋新十郎以下二十名が住み、鴻池新十郎が保有している土地と屋敷は、嘉永二年の鴻池新十郎家「大福帳」を繰ってみると次の記載があり、

同日

一六貫五百七拾八匁七分六厘

申五月ヨリ西閏四月迄家賃銀集之内丁人入用差引残 住吉屋町屋鋪

鴻池新十郎家が土地屋敷を持っていたことがわかる。「進物控」の贈答相手に鴻池新十郎の名前が出てこないことからしてもこの「進物控」が鴻池新十郎家のものであることが傍証されるし、和泉町・住吉屋町兩町の年寄に贈答している点は新十郎家が兩町に関係していることも要因の一つに数えられる。

②「進物控」によると次の蔵屋敷に進物をしている。当時の贈答から、鴻池屋新十郎家は大名貸を行い、嘉永二年の「大福帳」に諸方預け銀・利入には三十六ヶ所の大名達と取引があり、「進物控」に記載されている大名は十四家があり、この内十一家は「大福帳」と関係があった。

「進物控」と新十郎家の「大福帳」の記載が重なる大名は、秋田御屋敷（佐竹）、長府（毛利）、弘前（津軽）、尾州（徳川）、宇都宮（戸田）、岸和田（岡部）、関宿（久世）、仙台（伊達）、越前（松平）、柳川（立花）、津（藤堂）等である。蔵屋敷の方は金を借りたいばかりにご機嫌伺いとして、歳暮・中元は欠かさない。これに対して鴻池屋新十郎家は礼儀として進物をしているが、これだけでも「進物控」の内容と「大福帳」の内容が絡みあうことから、「進物控」が鴻池屋新十郎家のものであることが傍証

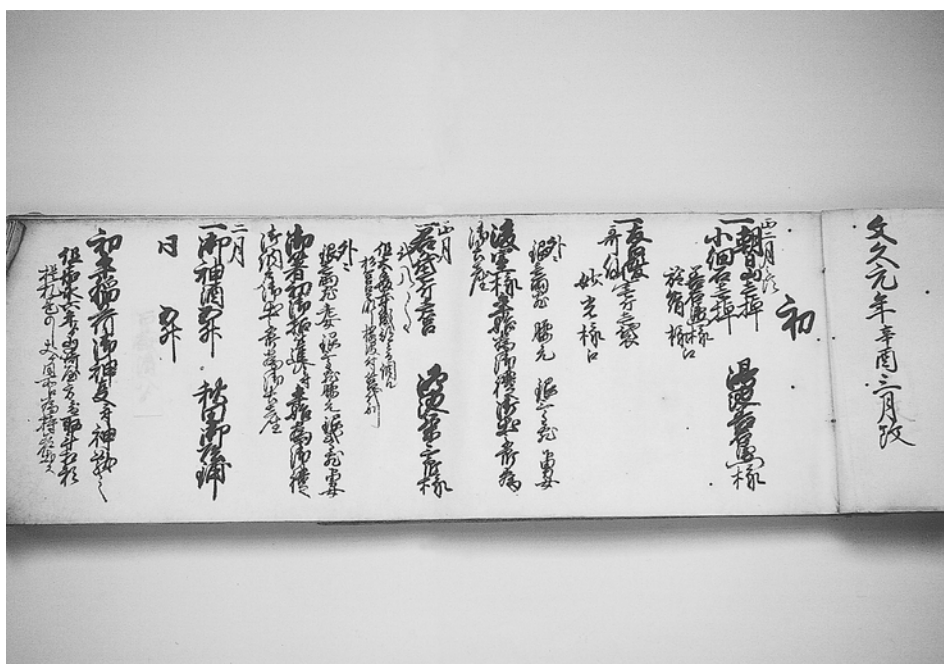
される。

③ 池新十郎家を取り巻く分家・別家

「進物控」に登場する鴻池一族は、鴻池善右衛門（本家）、鴻池栄三郎（和泉町・分家）、鴻池庄十郎浅七（別家）、鴻池善五郎（分家）、鴻池庄十郎（別家）等であり、「進物控」が新十郎家のものでないとすれば、鴻池家でも格式の高い新十郎（分家）が進物相手に登場しないのはおかしいといわねばならない。

他方、新十郎家の「進物覚」の進物相手に、鴻池善右衛門（本家）、鴻池善五郎（分家）、鴻池善之助（分家）、鴻池勝次郎（分家）、鴻池惣太郎（分家）等々鴻池一族十六家に及んでいて、「進物控」も「進物覚」も贈答相手や贈答品が相似ていて、ここからも「進物控」が鴻池新十郎家のものであることが推測される。

住吉屋町に保有する屋敷と年寄への進物、大名貸による「進物控」との関係、さらに「進物控」に鴻池の分家として格式高い新十郎家の名前の記載がない不思議さ、これらの条件を勘案すれば「進物控」は新十郎家の手で記載されたと考えられる。



「鴻池屋進物控」

文久元年辛酉三月改

初

正二月之頃

一 朝日山老棹  
小細石老棹

鴻池善右衛門様

善右衛門様  
於 絹様 江

一 友白髮  
歌 仙 老斤老袋

妙光様江

外二

銀老両宛 腰元 銀三匁宛 下男女

後室様年始為御礼御出之節為御土産

正月

一若の代老斤老筥

鴻池栄三郎様

代八匁

但大手坂本織部二而調候、杉筥足なし桜皮付筥代別

外二

銀老両宛 老女 銀三匁宛腰元 銀式匁宛下男女

御箸初御招被進候二付年始為御礼御納戸御出之節為御土産

二月

一御神酒五升

秋田御屋鋪

同 五升

初午稻荷御神事二付神献之

但嘉永六年ノ山崎屋方ニ而取斗相頼提札色のし丈ケ同

所江為持差出ス

三月朔日

長府

一鯉節老連宛

江見小平太様

浅野 教様

大庭次郎兵衛様

上巳為御祝儀

三四月之頃

一紗綾式卷

宇和嶋御屋鋪

代四拾三匁替位

但木地台式重操折形慰斗下ケ礼目錄折二乗る

殿様御通行御目見之節献上之

長府

五月朔日

江見小平太様

浅野 教様

大庭次郎兵衛様

端午為御祝儀

一鯉節老連宛

栢 隣平様

同 三升  
同 貳枚  
代 (貼紙)

同 三升  
同 貳枚  
代 (貼紙)

同 五升  
同 貳枚  
代 (貼紙)

同 三升  
同 貳枚  
代 貳匁替

五六月之内  
精麦五升  
蒲鉾二枚  
代 貳匁替

弘前  
萩原源司様

同  
中川才之進様

秋田  
小瀬良之助様

同  
前田又兵衛様  
中西三之助様

因州  
赤座為藏様  
山部隼太様  
石井平太夫様  
桑原三右衛門様

六月  
暑中御見舞  
時候為御見舞夫々懸り手紙二而

同 五升  
同 三枚  
代 貳匁替

同 貳升  
同 貳枚  
代 (貼紙)

同 三升  
同 貳枚  
代 (貼紙)

同 貳升  
同 貳枚  
代 (貼紙)

倉橋屋 勝兵衛殿  
藤四郎殿

同  
浅野 教様  
大庭次郎兵衛様  
栢 隣平様

長府  
江見小平太様

同  
村上長次郎様  
萩原和五郎様  
今 榮六様  
清水吾作様

申年

砂糖老斤二付 出嶋代八匁九分替  
三盆白代六匁四分替

尾州御用人格御書院番頭格

御勘定御奉行御地方御公事

御改革所御用向御引受

成瀬加兵衛様

同御用人格御町奉行御勘定

御奉行御改革所御用向

御引受

室賀源十郎様

同御勘定御奉行

御勝手方

筒井弥一郎様

服部喜八郎様

同御勘定御奉行

御地方御公事方

浅野彦五郎様

加藤五郎左衛門様

同御勝手方御吟味役

御締方

片岡喜平治様

山本儀右衛門様

今井半次郎様

同御勝手方御吟味役

大澤広兵衛様

一同 老筥宛

白目式斤入

毛利竹助様  
同御吟味方

樋口新六郎様

加藤彦太郎様

三輪卯右衛門様

同御改革所御吟味役並

金森和三郎様

平川善十郎様

同

杉山三郎兵衛様

一白砂糖老筥

白目三斤入

三軒

但卯七月御転役二付此度近例二而八相止可申候処調達筋訳立以

来格別之御懇意二付鈴木多門治様之例を以卯寒中以後如斯

一仙錦糖老筥

御同所

代五百文

百藏

杉筥足なし

清八

但御役儀御外転二相成候得共去ル丑春以来先例有之間敷御入魂之  
御方二付卯寒中以後如斯自筆伺書を以

今尾

一同 老筥宛

服部惣右衛門様

代五百文替

佐竹寛右衛門様

杉筥足なし

但含も有之寅年寒中<sup>の</sup>相始昨年暑中者無之候得共当辰暑中<sup>の</sup>相始例  
工八不相成候へ共当分如斯

当所尾州

一白砂糖一筥

本間初三郎様

白目三斤入

同御物書

一同 老曲

中野甚三郎様

唐目式斤入

因州

一同 老曲宛

赤座為蔵様

唐目式斤入

山部隼太様

石井平太夫様

桑原幾右衛門様

因州

一白砂糖一曲宛

前田又兵衛様

中西助右衛門様

一葛粽三把

倉橋屋 勝兵衛殿  
藤四郎殿

但御屋鋪御用筋兩名二而被取扱候二付品物者先是迄通手紙面而已兩

名 送候、申寒中<sup>の</sup>

一白砂糖一箱

弘前

白目式斤入

萩原源司様

一同 老曲宛

白目老斤入

同

村上長次郎様

萩原喜蔵様

今 榮六様

清水吾作様

萩原力三郎様

一同 老曲

白目老斤入

同

後藤雄馬殿

但足なし

口上書二而

同御門番

一白銀老兩宛

江川五郎吉殿

荒川徳二郎殿

但此分届方山與殿江頼ム

宇都宮

一白砂糖老曲宛

岩崎吉十郎様

唐目式斤入

梅川昌平様

但御用筋御連名二而御取扱二付御口上書御連名二認候、依而品物万

端御留主居梅川氏同様ニ取扱可申事、尤当分見斗新規御屋敷ニ付

但手代出勤之節持参

先如斯寅年寒中ハ

秋田

岸和田金穀大元締

一白砂糖老笹

町田平治様

一同 老笹宛

田代 環様

白目式斤入

唐目式斤入

多川彦右衛門様

一同 老笹

同

山岡新五左衛門様

同 老笹

中川才之進様

一同老曲宛

同御吟味役

同 老曲宛

同

白目老斤入

速見啓左衛門様

唐目式斤入

三宅重左衛門様

福井 裕様

同 老曲宛

山下要右衛門様

同御調役

同 老曲宛

池見弥三郎様

西村源五右衛門様

白砂糖一曲宛

中西和市様

吉田善左衛門様

白目老斤入

雜賀屋七之助殿

当所岸和田

同 老曲宛

仙台

岡野助左衛門様

同 老曲

齋藤養之助様

一同老曲

白目式斤入

小七郎ハ

関宿

一同 老曲宛

同

一同老箱宛

青木又五郎様

唐目式斤入

新関晋蔵様

唐目式斤入

新井又兵衛様

同 老曲

桜田正太郎様

座板付

宇和島

同 老曲

同

御門番式人

白目老斤入

野原源之丞様

一白銀老兩宛

御門番式人

同 老曲

同人ハ

(付紙抹遣)



一 同 老曲宛  
 白目老斤入  
 一 羊羹印紙五枚宛  
 江戸のし  
 一 同 三枚宛  
 江戸のし  
 一 白砂糖老箱  
 白目式斤入  
 一 葛粽 三把  
 到来合  
 一 白砂糖老曲  
 白目式斤入  
 一 生着兩種  
 代老貫四五百文位  
 柳蔭  
 一 葛卷 式棹  
 但台所当口上書二而  
 一 鱸七尾

越前  
 牧村清左衛門殿  
 岩井市郎兵衛殿  
 柳川  
 森 助之進様  
 大村長左衛門様  
 小七郎ゝ  
 同  
 玉井清太様  
 鎌田新吾様  
 吉田留之丞様  
 御 同 所  
 清八ゝ  
 吉田楠次郎様  
 鴻池善右衛門様  
 御 同 所  
 御同所  
 御店中

代八百五拾文替  
 一 白銀式両  
 一 水餅 七  
 到来合  
 一 白砂糖五斤  
 但白目老斤宛袋入  
 一 同 三斤宛  
 但右同断  
 一 水餅 拾五  
 一 白砂糖老曲  
 唐目式斤入  
 一 同 老箱  
 唐目式斤入座板付  
 一 白銀式両  
 一加多久利老袋  
 一 葛粽式把  
 到来合  
 一 仙錦糖式筥  
 代三百文替  
 但杉管入足なし巳年四疋

下河辺宗純殿  
 同 所  
 清八ゝ  
 御 納 戸  
付紙持通  
 別宅尼妻中ゝ  
貼紙  
 御 納 戸  
 同断  
 南坊法印殿  
 顯 孝 庵 様  
 後室様ゝ  
 玉 林 院 殿  
 中村弥三郎殿  
 新宮涼民殿  
 新宮涼閣殿  
 住山江甫殿  
 芋屋吉右衛門殿  
 重兵衛  
 忠兵衛ゝ

一 鱧印紙三枚

鴻池妙光様

代三匁替網彦二而調

但御納戸御直文二而

一 蒲鉾式枚

鴻池栄三郎様

到来合

一 葛粽式把

六人部右衛門殿

到来合

一 白砂糖壹曲

河内屋平右衛門殿

凡壹斤入

幸八ハ

但先方ハ来り候上贈ル

一 生肴兩種

加嶋屋作兵衛様

代拾式匁位

御納戸御直文二而

但彼方様ハ御到来在之候二付安政五年暑氣ハ始ル

一 白砂糖一曲

三井壽之助様

唐目式斤入

但足なし江戸のし付台所当口上書二而

六月廿三日

一 金子貳百疋

宇和嶋御屋鋪

御神酒料

和靈宮御祭礼二付使者を以差出候事

御神酒貳升

但塗平樽二入

一 鯛 壹連

白銀拾式匁(付紙抹遣)

御湯料

生玉宮御神事二付差出候事

七月九日

中元御祝儀

刺鯖 中年大 小壹匁三分替

長府

一 鯉節壹連宛

江見小平太様

浅野 教様

大庭次郎兵衛様

宇和島

栢 隣平様

武田仁右衛門様

橋本浪江様

松岡源五右衛門様

宮本平八郎様

上田源兵衛様

宮本岡右衛門様

高月喜助様

宮本八郎様

市村文吾様

一同 壹連宛

岸和田

岡野助左衛門様  
浅井七左衛門様

一同 五兩

同所

家守中お

一同 壹連宛

因州

赤座為藏様  
山部隼太様  
石井平太夫様  
桑原幾右衛門様  
前田又兵衛様  
中西助右衛門様

一同 貳兩

一同 壹兩

一同 壹兩宛

一同 貳匁

一同 三兩

丁代

泉助

同人母親

下役式人

同女房老人

丁代

泉助

家守中お

一金子貳朱宛

因州

山本伊平治様  
横山源藏様  
山田武右衛門様  
荒井傳次郎様  
山田源之丞様  
里見戸治様

一同七匁五分宛

一金子百疋

一金子百疋

一同 百疋

一白銀貳兩

一刺鯖五刺

大一同 五刺

一金子百疋宛

同断

三瓶 藏殿

千宗左殿

住山江甫殿

中村弥三郎殿

鴻池善右衛門様

同 榮三郎様

伏見尾州

加藤三右衛門様  
水谷小十郎様

同御見習

一白銀貳兩

同町

丁代

同町

下役式人

下河辺宗純殿

一鳥目貳百銅宛

一白銀五兩

一 白銀三兩宛

加藤太刀五郎様  
水谷小一郎様

同

一 金子貳朱宛

御定番八人

但御扶持方御米代金は迄伏見御屋敷に御渡し二付相渡り候上二而

御扶持方御礼下 相送り当時堂嶋御屋敷に御渡し方御世話被下

候得共任先例差出入、届方山與殿江頼遣又

一 金子百疋

御肴料

但御扶持方御米代金御渡し方御世話被下候二付為愛擲

一 金子三百疋

鴻池庄十郎殿方

淺七殿

但因州御屋敷為替之儀二付毎々預世話候為愛擲中元贈り之節送  
ル、尤嘉永三戌年に

七月

一 鯉節壹管

岸和田御屋鋪

三 拾本入

拾本二付

代七匁五分替

殿様御通行御着座為恐悦

同

一 御扇子一管

御同所

但五本入壹本物桐管足半月操鑲付萌黄真田紐式重操台折形慰斗下

ケ札

且那樣に

同

一 同 壹管宛

御同所

但三本入八分物桐管足半月紫皮紐付式重操台折形慰斗下ケ札

百蔵

忠兵衛

右同断御目見之節献上之

六七月之中

一 水餅拾

壽月様

一 鮎御鮓三

又七郎様

尾州様を御拜領二付為御裾分

七月

一 湊鮓壹桶

鴻池善右衛門様

塗桶二入代壹貫匁位

但小鯛 生貝 かます

(鯛) いな

(鯛) あし

(鯛) きすこ

車海老

善右衛門様  
於 絹様 江

同

一同 壺桶

妙 光 様

右同断代八百文位

後室様中元為御礼御出二付為御土産

外銀壺両宛腰元 銀三匁宛下男女江

同

一 歌仙壺斤

鴻池栄三郎様

於千代様中元為御礼御出御帰之節為御土産

八月廿二日

一 御神酒三升

長府御屋鋪

但御屋鋪西三田屋忠七方印紙二而

御鎮守御祭礼御神酒開毎年被下置候二付外御館入中御神献被致候趣

相聞、依而北洲様御同様之振二取斗、尤芋吉殿請合之上極ル

但弘化二年始ル、掛リ手紙二而芋吉殿江頼ム

九月六日

長府

一 鯉節壺連宛

江見小平太様

浅野 教様

大庭治郎兵衛様

重陽為御祝儀

同

御神酒式升

但塗平樽二入

一 鯛 壺連

松下出雲守殿

白銀拾貳匁

御湯料

生玉宮御祭礼二付神献之

同十四日

一 御神酒五升

秋田御屋鋪

同 五升

(付紙抹酒)  
百蔵清八

但嘉永六年秋山崎屋江取斗方相頼提ケ礼卷のし丈ケ同所江為持

差出ヌ

稻荷宮御神事二付神献之

十月

一 生肴三種

新田会所

代壺貫五百匁位

毛見中為見舞

十月頃

秋田

一 鶉拾五羽

町田平治様

但芹添ル

同

中川才之進様

一同 拾羽

右同断

御勝手方

同御勘定御奉行

弘前  
萩原源司様

一同 拾羽

右同断

筒井弥一郎様

服部喜八郎様

同御勘定御奉行

時候為御伺夫々掛り手紙二而

御地方御公事方

御兼

浅野彦五郎様

加藤五郎左衛門様

十一月

寒中御見舞

白砂糖壹斤二付

尾州

御勝手方御吟味役御頭取

尾州丈 出嶋七又八分五厘

諸方 三盆白五又三分五厘

一白砂糖壹箱宛

尾州

白目式斤入

今井左次右衛門様

同御吟味役

御用人格御書院御番頭格

鳥居久之丞様

御勘定御奉行御地方御掛り

同御吟味方

御引受

三輪卯右衛門様

一白砂糖壹箱宛

白目三斤入

成瀬嘉兵衛様

同御改革所

同御用人格町御奉行

御吟味役並

御勘定御奉行御改革所

金森和三郎様  
秋元卯兵衛様

同

杉山三郎兵衛様

一 同 老筥  
白目三斤入

三軒の

但卯七月御転役二付此度の近例二而者相止可申候処調達筋立以  
来格別御懇意二付鈴木多門治様之例を以卯寒中の以後如斯

一 同 三拾宛  
同断

因州  
赤座為蔵様  
山部隼太様  
石井平太夫様  
桑原幾右衛門様

一 仙錦糖老筥

御 同 所

代五百文

百 蔵の

一 同 五拾  
同断

倉橋屋 勝兵衛殿  
藤四郎殿

杉宮入足なし

清 八の

但御役義御外転二相成候得共去ル丑春以来先例在之間鋪御入魂之

而已兩名二而送申、寒中の  
但御屋鋪御用筋兩名二而被取扱候二付品物者先是迄通二而手紙面

御方二付卯寒中の已後如斯

今尾

一 同 五拾宛

秋田  
町田平治様

一 同 貳筥

久世弥兵衛様

交リ籠入

中川才之進様

代五百文替

佐竹寛右衛門様

杉宮入足なし

当所尾州

一 同 三拾宛  
同断

同  
三宅重右衛門  
山下要右衛門様

一 鶏卵老籠五拾

本間初三郎様

池見弥三郎様

交リ籠入

中西和一様

同

一 同 三拾

中野甚三郎様

一 白砂糖老曲宛  
白目老斤入

同  
雜賀屋七之助殿  
同 弥三郎殿

同断

一 鶏卵一籠五拾  
交り籠入

弘前  
萩原源司様

一 鯉節老筥宛  
但式拾本入

田代 環様  
多川彦右衛門様  
山岡新五左衛門様

一同 三拾宛

同断

同

村上長次郎様

一金子式朱宛

鯉節料

福井 裕様

速水啓左衛門様

山本宗右衛門様

林 分太夫様

同御調役

萩原力三郎様

同

後藤雄馬殿

西村源五右衛門様

船坂五左衛門様

山田庄左衛門様

当所岸和田

岡野助左衛門様

一 鶏卵一籠式拾  
交り籠入

口上書添

同御門番

江川五郎吉殿

一 白砂糖老曲

唐目式斤入

関宿

青木又五郎様

新井又兵衛様

一 鶏卵一籠三拾宛

交り籠入

宇都宮

岩崎吉十郎様

梅川昌平様

一 白砂糖老筥宛

唐目式斤入

座板付

仙台

齋藤養之助様

小七郎様

但御用筋御連名ニ而御取扱ニ付御伺口上書御連名ニ認候、依而品物  
万端御留主居梅川氏同様ニ取扱可申事、尤当分見斗新規御屋敷ニ  
付先如此寅年寒中

岸和田金穀大元締

一同 老曲

白目式斤入



- 一同 老曲宛
- 唐目式斤入
- 一同 老曲
- 白目老斤入
- 一同 老曲
- 金子百疋
- 御肴料
- 南側彦七殿
- 但暑中者南側る寒中者手前る仕出ス
- 手前忠兵衛る
- 宇和嶋
- 白銀(貼紙抹遣)老兩宛
- 但手代出勤之節持参
- 御門番式人
- 柳川
- 一羊羹印紙五枚宛
- 江戸のし
- 森 助之進様
- 大村長左衛門様
- 小七郎る
- 同
- 玉井清太様
- 鎌田新吾様
- 同人る
- 同断
- 三枚宛
- 同
- 新関晋蔵様
- 桜田正太郎様
- 同人る
- 野原源之丞様
- 同人る
- 津
- 水上権太夫様
- 一鶏卵一籠百
- 到来合
- 白砂糖老筥
- 唐目式斤入
- 同
- 野原源之丞様
- 同人る
- 一白砂糖老曲
- 唐目式斤入
- 一同 老筥
- 唐目式斤入
- 座板付
- 一白銀式兩
- 小肴
- 菓子
- 右兩様之内到来合
- 一白銀式兩
- 一蠣 三升
- 但堅斗渡し桶二入台所当口上書二而
- 一生肴兩種
- 吉田富之丞様
- 御 同 所
- 清八る
- 吉田楠次郎様
- 頭 孝 庵 様
- 後室様る
- 玉林 院 殿
- 下河辺宗純殿
- 同 所
- 清八る
- 南坊法印殿
- 中村弥三郎殿
- 三井壽之助様

代耆貫五百匁位

鴻池善右衛門様

一若狹小鯛拾五枚

御 同 所

代八分替位

一鴨 五羽

御同所

御店中

一温飩三重

妙 光 様

一蕎麦耆重

代八百匁

但八ッ橋蒸籠二入

御納戸御直文二而

一兩調羹耆棹

鴻池栄三郎様

到来合

一白砂糖五斤

但耆斤宛袋二入

御 納 戸

一同 三斤宛

但同断

〔貼紙〕御納戸

一蠣三升

但堅斗り漆し桶入

同断

新宮涼民殿

同 涼閣殿

一 生肴

菓 子

六人部右衛門殿

一鶏卵一籠三拾

交り籠入

芋屋吉右衛門殿

重兵衛

忠兵衛

一 生肴

菓 子

住山江甫殿

右両様之内到来合

一同

右同断到来合

但先方より来り候上送ル

一 生肴兩種

代拾式三匁位

加嶋屋作兵衛様

御納戸御直文二而

一温飩四重

代八百匁

顯 孝 庵 様

臘八為御見舞

十二月十九日

歳暮御祝儀

申年

塩小鯛  
大老奴式歩  
小九歩

一 經節式連宛

秋田

町田平治様

中川才之進様

一金子式朱宛

御小牲<sup>(姓)</sup>

中川様

若党

町田様

御艸履取<sup>(草)</sup>

中川様

三宅様

御小者

仲間

一 同 老連宛

三宅重右衛門様

山下要右衛門様

池見弥三郎様

同御小人

栗山方次殿

秋山慶之助殿

同御門番

榎野儀三郎殿

同御米方手代

田崎寛藏殿

西川信兵衛殿

同御見習

町田様

一 同 式束宛

代同断

一小半紙三束

代五匁五分替

秋田

町田平治様

同

中川才之進様

同

三宅重右衛門様

山下要右衛門様

池見弥三郎様

中西和一様

一 同 老兩

一 白銀式兩宛<sup>(付紙抹遣)</sup>

同御門番

榎野儀三郎殿

榎野省三郎殿

同御米方手代

田崎寛藏殿

西川信兵衛殿

同御見習

町田様

右百蔵清八ぶ

但御扶持方米御蔵出之節世話被致吳候趣二而被乞候二付平野屋申

合御人数増減二不抱抱同様二 相贈候也、御門番衆銀子八両様

共届方木屋相頼△

木屋平助殿

一金子三百疋

因州御屋鋪出勤之節待合候愛掬

一同 式百疋

阿波屋藤蔵殿

同

因州御扶持方御米之儀二付世話二相成候愛掬

大

一 同 拾枚宛

同 前田又兵衛様

中西助右衛門様

一 鯉節拾五本宛

因州 赤座為蔵様

但紙包二

山部隼太様

一金子式朱宛

同 山本伊平治様

塩肴料

横山源蔵様

山田武右衛門様

荒井傳次郎様

山田源之丞様

星見戸 治様

桑原幾右衛門様

前田又兵衛様

同

一金子式朱宛

山本伊平治様

塩肴料

横山源蔵様

山田武右衛門様

荒井傳次郎様

山田源之丞様

星見戸 治様

一 白銀壹両宛

同 星見恒次郎殿

永田橋右衛門殿

坂東半三郎殿

石井勇次郎殿

佐藤鉄蔵殿

星見浅次郎殿

星見久次郎殿

右百蔵重兵衛忠兵衛ぶ

長府

一金子式百疋

御門番中

一 鯉節老連宛

一 帶地老筋

橋本浪江様

江見小平太様

代式拾老匁六分

浅野 教様  
大庭治郎兵衛様  
栢 隣平様

同御藏方

一金子百疋宛

松岡源五右衛門様

岸和田

一同 老連宛

御肴料

岡野助左衛門様  
浅井七左衛門様

同御下役

尾州

一同 式連

本間初三郎様

宮本平八郎様  
上田源兵衛様  
宮本岡右衛門様

同

(マ)

一金子百疋

富月喜助様  
宮本八郎様  
木村文吾様

御肴料

仙台

一同 式朱宛

同御仲間  
福野勝助殿

一 鯉節式連

齋藤養之助様

本間様

小七郎お

御侍老人

同

本間様

一同 老連宛

新関晋藏様

一 白銀老両

御艸履取老人

桜田正太郎様  
同人お

宇和嶋

武田郷右衛門様

同

一 真綿老把  
代式拾七匁五分

一金子式朱

野原源之丞様

塩肴料

同人お

同

同

一 白銀壹兩宛

上野利作殿

江南治郎吉殿

上田駒藏殿

同人

代 七拾目

六拾七匁八分

一 白銀三枚

同所店中

一 金子三百疋

同所浅七殿

弘前

萩原源司様

因州御屋敷為替之儀ニ付世話ニ相成候愛摺

一 白銀貳兩

中村弥三郎殿

同

村上長治郎様

一 金子百疋宛

千 宗左殿

萩原喜藏様

今 栄六様

清水吾作様

萩原力三郎様

住山江甫殿

三瓶 藏殿

住吉屋町年寄

炭屋市兵衛殿

同

後藤雄馬殿

同所

一 白銀貳兩

丁代

口上書二而

同所

小

(付紙抹消)  
一 金子貳朱

塩肴料

一 塩小鯛貳拾枚

鴻池善右衛門様

同

一 同 拾枚

同 栄三郎様

大

一 同 拾枚

同 善五郎様

一 加賀絹貳疋

鴻池庄十郎殿

一 鳥目貳百銅宛

下役式人

一 白銀五兩

下河辺宗純殿

一 同 五兩

同所

家守中

丁代

泉 助

同人

母 親

一 同 壹兩

一同 壹兩宛

下役貳人

一金子貳朱宛

御定番衆八人

一同 貳匁

下役女房老人

但夏之通御扶持方相渡り候上二而為御礼

当所尾州

一同 三兩

丁代

泉助

一金子百疋

但夏之通御扶持方相渡り候上二而為御礼

家守中カ

一同 七匁五分宛

下役貳人

十二月

同断

山與殿方

枝柿五つ

壽月様

一 白銀三枚

市郎兵衛

宮重大根カ本宛  
尾州様カ御拝領二付為御裾分

又七郎様

同

一同 貳枚

収蔵

同

一同 五兩

家内中

同

一同 壹枚

仲間中

伏見尾州

一 金子百疋宛

加藤三右衛門様

水谷小十郎様

同御見習

一 白銀三兩宛

加藤太刀五郎様

水谷小一郎様